

とちのみ通信

VOL. 11

2026年2月 生活介護事業所とちのみ 〒191-0033 東京都日野市百草 1042-21 <https://mogusa-asunaro.jp/seikatu> MAIL: tochinomi@kashima-kaihatsu.co.jp TEL: 042-506-5780 FAX: 042-506-5781

日頃より、とちのみの活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
本号では、大切なお知らせと行事の様子などをお伝えします。



夏祭り

今年はゲームを点数制にし、点数に応じて交換できるお菓子の数が変わる仕組みにしたところ、皆さんとても意欲的にゲームに取り組まれていました。お待ちかねの食事の時間には、会場が笑顔でいっぱい。かき氷はさまざまな味の中から自分で選び、味を混ぜる“強者”も登場し、「おいしい!」「いまいちだ〜」

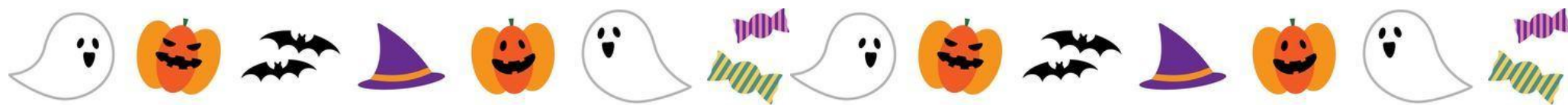
と、笑い声があふれていました。お神輿は駐車場を大きな声で練り歩き、他施設の方々からも声援をいただきました。参加された皆さんにとって、思い出に残る楽しい一日となりました。



個別外出

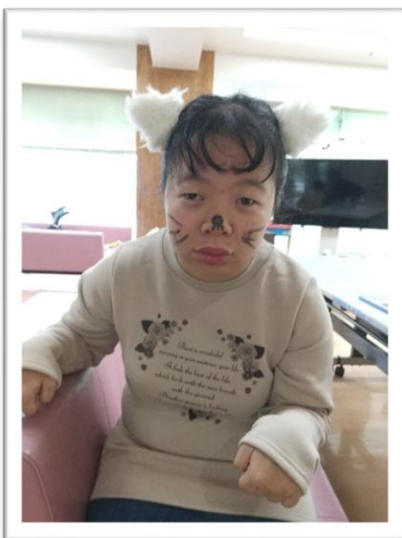
退所される利用者さんの餞別品を購入するため、女性利用者さん皆さんでぐりーんうぉーく多摩へ出かけました。今回はお洋服をお渡しすることに決めていたため、洋服店で実際に鏡の前で合わせながら、色やデザインを一つひとつ確認しました。皆さん、鏡に映る姿を見て笑顔になり、とても嬉しそうな様子でした。相談しながら、いちばん似合うお洋服を選ぶことができました。昼食は、小野瀬さんが大好きなマクドナルドで取りました。夢中になって、嬉しそうに食べている姿がとても印象的でした。デザートにはアイスも食べ、「大満足!」という笑顔を見ることができ、こちらまで嬉しい気持ちになりました。その後、100円均一でおもちゃも購入し、終始笑顔あふれる、本当に楽しい一日となりました★





ハロウィン

10月はハロウィンを楽しみました。室内の飾りつけをしたり、仮装をしたりと、いつもとは少し違う特別な一日に。「トリック・オア・トリート！」の声とともに、お菓子を受け取ると自然と笑顔がこぼれ、にぎやかで温かい時間となりました。皆さんの楽しそうな表情がとても印象的でした。



大学の学園祭



10月24日は、グループホームやえざくらの近くにある武蔵野美術大学の学園祭へ。

11月1日は、日野市内の明星大学の学園祭へ出かけました。

お化け屋敷にドキドキしながら挑戦したり、ゲームに参加して盛り上がったりと、学生の皆さんと触れ合いながら楽しい時間を過ごしました。たくさんの笑顔が見られた、思い出に残る二日間となりました。



クリスマス会

今年のクリスマス会は、笑顔あふれる楽しいひとときとなりました。

まずは多摩センターへ出かけ、きらびやかなクリスマスの飾りを見学しました。大きなツリーを前に、「きれい！」「すごいね」と目を輝かせる姿がとても印象的でした。会では、秋山サンタが登場！サンタさんから一人ひとりにクリスマスプレゼントのお菓子が手渡されると、嬉しそうな笑顔が広がりました。お楽しみの

食事は、チキンライスにチキンナゲット、コンソメスープ、そしてケーキ。クリスマスらしいメニューに、皆さん大満足の様子でした。おいしい食事と素敵なプレゼント、そして仲間と過ごす時間。心もお腹も満たされた、思い出に残るクリスマス会となりました

作業の紹介



日野市公園清掃

9月に入り、ねこちゃんチームでの日野市公園清掃の活動が開始しました。公園でのゴミ拾いや遊具の拭き掃除に元気いっぱい取り組んでいます。公園内を回り、ゴミを見つけては「あった！」と嬉しそうに拾う姿がとても印象的です。雑巾もしっかりと絞り、丁寧に拭き掃除をしています。これからもみんなで力を合わせ、公園をきれいにしていきます。

花壇・植栽の手入れ

今年度より、日野市からの依頼作業として日野市教育センター（元高幡台小学校）の花壇の手入れを行っています。草取りや整備を重ねながら、春に桜が咲く頃には、気持ちよくお花見ができるよう、みんなで力を合わせて頑張っています。きれいに整った花壇でお花見をする日を楽しみに、これからも丁寧に作業を続けていきます。



小平公園清掃

系列事業所のお手伝いとして週に2回、出張という形で作業しております。一日外作業は大変ですが、利用者は普段違う場所での食事や風景を楽しみながら作業しております。また、他事業所の利用者様との交流も広がり、たくさんの人の輪が繋がっております。



切手リサイクル



日野市よりご依頼を受け、郵送済み封筒の処理作業を行っています。主な作業は、①切手と封筒の切り分け ②封筒のシュレッダー処理です。1～2ヶ月に一度、700枚前後（多い時は1,000枚近く）を担当しています。

集中力や丁寧さが求められる作業ですが、利用者様それぞれの得意なことを活かし、協力して取り組んでいる大切なお仕事です。

銀のさら

銀のさらや釜寅で使用されるお箸やお皿を、小袋に詰める内職作業を行っています。

袋詰めだけでなく、作業がスムーズに進むよう事前準備も利用者の皆さんで分担し、声を掛け合いながら取り組んでいます。一つひとつ丁寧に仕上げる、チームワークが活きる大切なお仕事です。



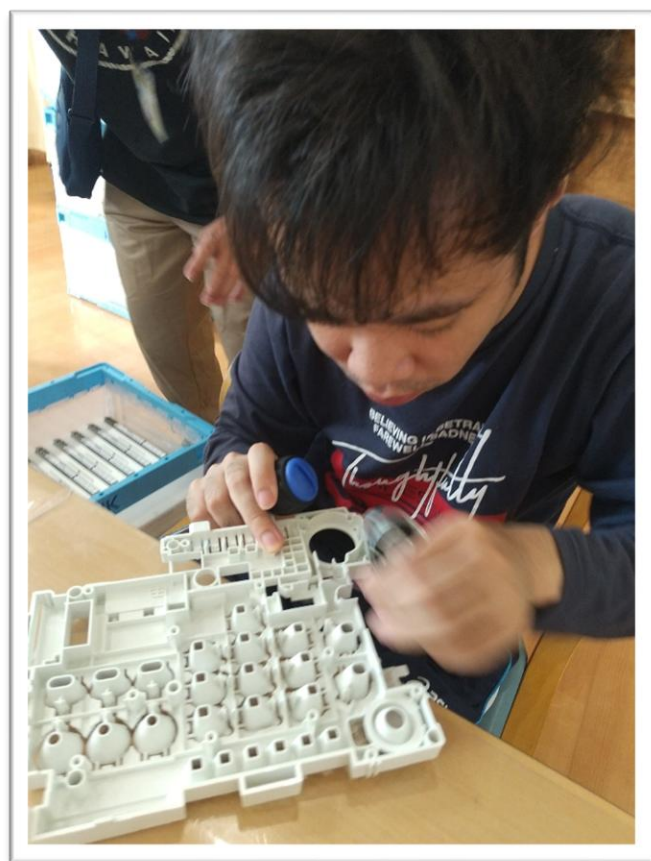
古紙回収

契約先の業者様のもとへ伺い、段ボールや古本などの回収を行っています。量が多い日もあり、重たい荷物を運ぶ力仕事ですが、声を掛け合いながら協力して取り組んでいます。体力とチームワークが活かされる、大切なお仕事の一つです。



廃品解体・仕分け

日野金属の分解作業では、主にネジの取り外しを利用者さんに担当していただいています。ネジの種類や大きさによって使用する工具が異なるため、作業を分担し、それぞれが取り組みやすい形で進めています。はじめは難しいと感じていた利用者さんも、工夫や関わり方次第で少しずつできるようになっていきます。その成長を間近で感じられることは、職員にとっても大きな喜びであり、やりがいにつながっています。



新施設長および新サービス管理責任者就任のお知らせ

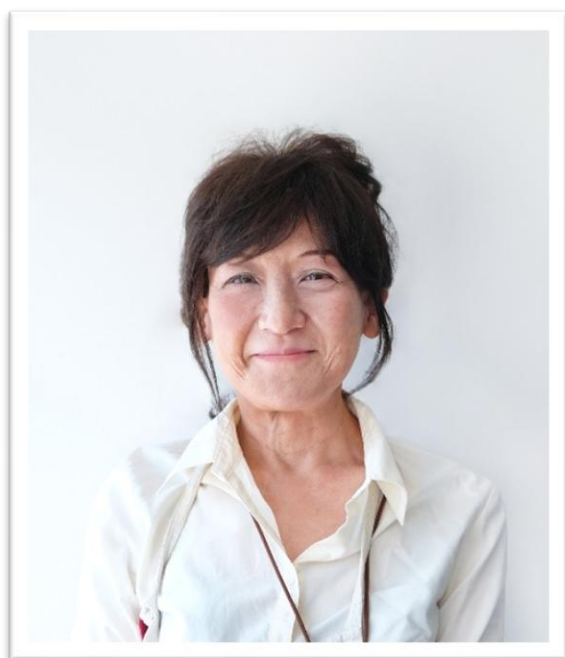
このたび、2月1日付にて、新施設長に 有澤 浩子（障害福祉部部長兼務）が就任し、あわせて新たにサービス管理責任者に 中前 秀晴 が就任いたしました。

なお、前施設長 金子 絵美子 につきましては、今後は「相談室さくらそう」の管理者として業務に専念してまいります。

新体制となりますが、これまで培ってきた支援の姿勢や大切にしてきた思いを引き継ぎ、利用者の皆さんが安心して過ごせる場所であり続けられるよう、職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

今後とも、とちのみの活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

退任のご挨拶



この度「生活介護事業所とちのみ」の施設長を退任し、「相談室さくらそう」に専念させて頂く事になりました。

5年ほど前事業開始間もないとちのみに入職し、利用者様それぞれに合わせた社会参加や自立を模索する中で、作業や工賃導入、構造化、個別支援化の導入を進め、利用者会議や意思決定支援等、独自の取り組みにも挑戦させて頂きました。利用者さんが成長していく姿は感動的で、初めて工賃を貰った時の利用者さんの表情は一生忘れないと思

います。一から事業所の組み立てをするという得難い経験をさせて戴き、私にとっても大きな財産となりました。利用者様をはじめ、関係する全ての方々に感謝致します。

相談室さくらそうですが、来年度からいよいよ日野市でも基幹相談が始まり、各層の相談支援の力量アップと役割分担が喫緊の課題となっております。引き続き、力を尽くして参りたいと思っております。

日々のご支援、ご協力に深く感謝いたします。ご不明点やご相談がありましたら、どうぞお気軽にお声がけください。

また、取り上げてほしいテーマやご意見がありましたら、ぜひお寄せください。